

齋藤 芳子 Yoshiko Saito | Sop.

アンネット・一恵・ストゥルナート氏、柴田喜代子氏、原田茂生氏に師事。地元山梨テレビ放送の音楽番組に参加、地域の音楽文化に貢献する。御宿町に移住後、『フィリア音楽サロン』を主宰し、声楽や合唱指導にあたる一方、若手音楽家の育成にも力をそそぐ。

新井 薫 Kaoru Arai | Pf.

ピアノを吉田勝枝氏、松井恵史氏、作曲を近藤裕氏に師事。2010、11年『月の沙漠音楽祭』コンクールにて入賞。1994年前よりピアノ教室開設。指導の傍ら、ミュージカルを含め多彩な演奏活動に力を入れている。

大野 進太郎 Shintaro Ono | Rec. Sax.

リコーダー、室内楽を安井敬氏に師事。2009年に東京から御宿町へ移住。2011年『月の沙漠音楽祭』コンクールにて銀賞受賞。現在『御宿リコーダー教室』で指導の傍ら、楽曲の作編曲活動も行っている。バロック、クラシックからジャズまで幅広いジャンルで演奏中。

桐原 宗生 Souki Kirihara | Vn.

鹿児島県出身。3歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)卒業、桐朋学園大学4年次在学中。第64回全日本学生音楽コンクール高校の部全国大会第2位。平成22年度桐朋学園音楽部門高校卒業演奏会出演。2012年、2013年小澤国際室内楽アカデミー奥志賀に参加。またこれまでに、ヴァイオリンを中島三幾、故田中千香士各氏に師事。室内楽をジュリアードカルテット、東京カルテット、ジャパンプ・ストリングス・カルテットに師事。現在、堀正文、久保良治両氏に師事。

塩月 彩華 Saika Shiotsuki | Pf.

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。在学中オーストリア、ザルツブルグ市モーツァルト音楽院にて夏期マスタークラス参加。ディプロマ取得。斎木ユリ氏、斎木隆氏、ジュルメヌ・ムニエ氏、ジャック・ルビエ氏、ジェフリー・グライス氏に師事。卒業後パリ、エコール・ノルマル音楽院に入学。イタリア、フラムーラ市主催コンサートに出演。prest国際ピアノコンクール リスト部門金メダル、フォーレ・ドビュシー部門、ショパン部門各々銀メダル受賞。帰国後は、ソロリサイタル、トークコンサート、マタニティーコンサートなどでメディアの取材を受ける(朝日新聞、読売新聞、京都新聞、琵琶湖放送)美術館にて絵画とのコラボレーションコンサートを多数こなす。ユネスコ国際ダンスコンGRESSに

てモダンバレエと現代音楽のコラボレーションを発表。平塚景堂氏の絵画、曲を楽しむコンサート『禅の世界』パリ日本文化会館の公演は国営放送ラジオフランスにてインタビュー、放送される。その他、パリ、プチパレにて銀閣寺国際交流事業の公演で三笠宮彬子女王殿下と共演や、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン丸の内など国内外で活動中。

寺田 まり Mari Terada | Pf.

7歳で渡米し、アメリカでのコンクール多数入賞。高校より渡独し、エッセン国立音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。パリのエコール・ノルマル音楽院研究科にて研鑽を積む。ルーセル国際コンクール(ブルガリア)、ローマ国際コンクール(イタリア)にてディプロマやメダル受賞。イタリアのキジアーナ音楽院にて室内楽を学び、名誉ディプロマを受賞する。1997年日本でのデビューリサイタルを行い、1998年「音楽の友」2月号“日本人演奏家ジャンル別話題のコンサート'97”に選ばれる。

CD録音はアウローラ・クラシカルより「シューマン」と「ドビュッシーピアノ作品集」をリリース。「ドビュッシー」録音で「レコード芸術」「ショパン」、各誌で特選盤に選出される。海外でもベトナム国立交響楽団との共演、ブラジルでは外務省認定事業「日本ブラジル移民100周年記念コンサート」及び「ブラジル報道協会200周年記念コンサート」を行うなど、他にもドイツ、中国、韓国、ベトナム、タイでもリサイタルやマスタークラスを行い、好評を博す。ソロ活動のほか、他ジャンルとのコラボレーション企画、伴奏、アウトリーチ活動、レクチャーコンサートなども積極的に行っている。P.I.A. Japanコンクール、及び検定試験の審査員も務める。これまでに中村裕子、クラウス・シルデ、ジェルメヌ・ムニエ各氏に師事する。

(公)日本演奏家連盟、(社団)全日本ピアノ指導者協会(P T N A)正会員。
<http://www.mariterada.com/>

岩見 真佐子 Masako Iwami | Sop.

東京都出身。東京藝術大学卒業、同大学大学院修士課程修了。二期会オペラ研修所優秀賞受賞。第五回モーツァルト国際音楽コンクール声楽部門第三位受賞。高橋大海・嶺貞子・A.Noni・戸田敏子の各氏に師事。文化庁オペラ研修所20周年記念公演出演。在学中よりミュンヘンにてE.Haefliger氏に師事。ドイツにてオラトリオ・カンタータのソロを務めると共にチューリヒ・ルツェルンにてディプロマ取得。日本声楽家協会の派遣によりウィーン留学。二期会本公演「魔笛」にてオペラデ

ビュー。帰国後「リゴレット」「ラボエーム」「ばらの騎士」「こうもり」「フィガロの結婚」「コシ・ファン・トゥッテ」「ティートの慈悲」「ペレアスとメリザンド」「ポッペアの戴冠」「電話」に出演。00年世界的ソプラノE.マティス氏の代役としてバッハ「ロ短調ミサ」ソリストをつとめるほか、イスラエルに於ける国際NGO連盟協議会主催演奏会、新日本フィル松尾葉子指揮国技館第九演奏会出演。また「澄明な声」「詩と音楽の内面性表現」と各誌で評され、「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「レクイエム」「メサイア」「天地創造」「四季」「荘厳ミサ曲」「第九」、マーラー「千人の交響曲」等高い評価を得ており、新日本フィル、東京フィル、アンサンブル金沢等国内外オーケストラと共演。震災復興支援プロジェクト・文科省関連録音ほか、生誕250年“オール・モーツァルト・プログラム”収録CD「すみれ」、東京文化会館に於けるリサイタルにてゲーテ歌曲作品収録CD「花の挨拶」リリース。草津夏期国際音楽祭招聘アーティスト。日本H.ヴォルフ協会会員。東邦音楽大学講師。日本演奏連盟会員・日本声楽家協会会員・二期会会員。

丸山 滋 Shigeru Maruyama | Pf.

東京藝術大学大学院修士課程を修了。修了時にクロイツァー賞を受賞。植田克己氏に師事。1992年よりドイツ学術交流会(DAAD)の政府奨学金留学生として、ミュンヘン音楽大学マイスター課程に入学。ピアノをクラウス・シルデ、歌曲演奏法をヘルムート・ドイチュの各氏に師事。1994年、ハンス・プフィツナー歌曲コンクール(ミュンヘン)において歌曲伴奏特別賞を受賞。同年、ミュンヘン音楽大学を修了。その後若い演奏家たちと様々な国際的経験を積んだ後、1995年に活動の場を日本に移す。帰国後はソプラノの鮫島有美子、市原愛、テノールの岡崎實俊、吉田浩之、ヴァイオリンの千住真理子ら多くの一流演奏家たちから大きな信頼を寄せられるパートナーとして、全国各地でのリサイタルやCD、DVD、放送など様々な機会に盛んな共演を続けている。1997年、J.S.G.国際歌曲コンクール(東京・大阪)において優秀伴奏者賞を受賞。同年、日本演奏連盟主催「演連コンサート93」として東京文化会館でデビューリサイタルを開催。以降ソロ、室内楽、歌曲とピアノが関わる幅広い分野での活発な活動を行っている。東京藝術大学において室内楽科とピアノ科の非常勤講師を務めた後、現在同大学声楽科非常勤講師。また他の大学で歌曲演奏に関する公開講座なども行っている。

(出演順)